【様式】

令和5年度　学校マネジメントシート

学校名（　三重県立神戸高等学校　）

1　目指す姿

(1) 目指す学校像		○不断の進化を続ける「高品位な進学伝統校」 ○生徒、保護者、地域から信頼され、期待される学校
(2)	育みたい児童生徒像	○自らを知り、自分の目標に向かって挑戦し続ける生徒
	ありたい教職員像	「生徒の育成」を願い、授業の充実や学校運営に進取の「気概」を持ち、「知恵」を絞ると共に「和」して働く「協働」の精神を持つ教師集団

2　現状認識

(1) 学校の価値を提供する相手とそこからの要求・期待	〈生徒〉 学力の向上と希望進路実現、充実した教育内容と楽しく安全安心な高校生活環境 〈保護者〉 子どもの学力向上と進路保障、基本的生活習慣向上と高いレベルでの人づくり 〈地域社会〉 地域の伝統校としての進学実績向上、地域を担うリーダーの育成・輩出	
(2) 連携する相手と連携するうえでの要望・期待	連携する相手からの要望・期待	連携する相手への要望・期待
	〈保護者〉 学習・進路・生活面でのきめ細かい指導 〈地域社会〉 地域の伝統校としての地位向上と将来を担うリーダーの育成 〈中学校〉 地域の進学校としての存在意義 〈地元大学〉 高大連携、目的意識醸成と基礎学力育成	〈保護者〉 学校と家庭間の連携と支援、信頼関係の構築 〈地域社会〉 学校運営への支援・協力、キャリア教育充実のための連携と協力 〈中学校〉 生徒の学習習慣の定着と生活習慣の確立 〈地元大学〉 高大連携の充実・促進
(3) 前年度の学校関係者評価等	○コロナ感染は少なくなってきているが、インフルエンザなど他の感染症については免疫がなくなっており引き続きの予防が必要である。 ○最近はAIなどで勝手に文章を作ってくれる便利な機能があるが、学校においては自分で文章を作る力や読解力を身に着けさせる必要がある。 ○働き方改革について、定時退校が徹底されない原因や年休取得が進まない原因を究明し、できることから改善していく必要がある。	
(4) 現状と課題　教育活動	【現状】 ①新型コロナを含む感染症に対する予防対策を引き続き継続していく。 ②生徒は一定の学力を有して入学してくるが、目的意識が弱い生徒もおり、期待する学力の向上や進路実現につながっていない。学力の二極化も進みつつある。 ③クラス減に伴い教員数も減少している一方で、探究活動やICT活用など新たに取り組むべきことが増え続けている。 【課題】 ②③昨年新たに設定した「育みたい生徒像」を実現するために、カリキュラムを始め現在取り組んでいる様々な活動を見直し整理し、取組の優先順位を明確にする必要がある。 ②③効果的なICT活用や観点別評価について好事例を学び横展開する必要がある。	

	学校 運営等	【現状】 ・各教員は教科指導、進路指導、生活指導、部活動指導等において真摯に取り組み、一定の成果を上げているが、個々の教員や学年単位での取組に偏る傾向がある。 ・クラス減に伴い教員数も減少している一方で、探究活動やICT活用などやるべきことが増え続けており、教員の負担が増加している。 【課題】 ・②③昨年新たに設定した「育みたい生徒像」を実現するために、カリキュラムを始め現在取り組んでいる様々な活動を見直し整理し、取組のスリム化を図る必要がある。 ・心の問題を抱える生徒が増加する中で、職員間の共通理解と早期解決が必要である。

3　中長期的な重点目標

教育活動	○将来、地元を支え、地元で活躍できる生徒を育成します。 ○生徒の主体的な学習態度を養うとともに、3年間を通じて継続的計画的な学習ができる持続可能な方針（スクールポリシー）を示します。 ○生徒の学習意欲と学力向上を図ると共に、早期からの進路意識向上に努め、国公立大学をはじめとした希望校に合格できる進学状況を目指します。
学校運営等	○授業内容の改善やICTを効果的に活用した授業力向上に組織的に取り組む風土を醸成し、生徒の無限の可能性を引き出します。 ○大きな視点からの議論（教育改革委員会）の中で、中長期的なゴールの明確化、職員のベクトル合わせと取組の優先順位などを整理し、全ての職員がやる気とやりがいをもって働ける職場づくりを目指します。 ○学校の魅力化をすすめるとともに学校からの情報発信を強化します。また、職員の仕事満足度の向上や働き方改革に努めます。

4　本年度の行動計画と評価

（1）教育活動

教育活動に関する項目は、児童生徒を対象としたものとするのが望ましい。
（例）「教育課程・学習指導」「キャリア教育（進路指導）」「生徒指導」「保健管理」など
また、評価項目・指標等を検討する際の視点は、学校の実態に応じて設定する。

【活動指標について】取組・活動の具体的な活動量や活動実績を指標にします。
【成果指標について】取組・活動による具体的な効果や成果等を指標にします。
【備考欄について】「※」：定期的に進捗を管理する取組　「◎」：最重点取組

項目	取組内容・指標	結果	備考
安全安心な学校生活	○新型コロナウイルス含む感染症への対応 ○交通事故防止 ○命を大切にする教育 ○いじめの未然防止 ○教育相談体制の充実など 【活動指標】 ・新型コロナを含む感染症に対する予防対策の継続 ・交通安全講話、単車通学許可者へのスクーリング ・いじめアンケートや集会等での道徳的講話（命の講話含む）の実施 ・いじめ撲滅のためピンクシャツ運動等の啓発：年 10 日以上 ・教育相談に関わる情報共有の強化、事例検討会の実施 【成果指標】 ・自転車バイクの事故件数：10件以下 ・本校生徒の過失による事故件数：0件 ・いじめ重大事態　0件 ・心の問題の早期発見、解決		◎

将来を見据えた学力の向上	○効果的な観点別評価や1人1台端末に対応した授業の充実 ○家庭学習習慣の定着 ○校外活動への積極的参加 ○探究的活動(理数科「課題研究」 普通科「鈴鹿学」)の充実 【活動指標】 ・1人1台端末を活用した授業の公開・研究 ・家庭学習に係る実態調査の実施、分析、共有 ・地元小中学生に対する学習指導や実験教室の実施、充実 ・大学や研究施設との連携、訪問授業や企業訪問の実施 【成果指標】 ・生徒による授業評価(主体的活動): 60%以上 ・授業満足度・理解度 50%(Top Box) ・学習時間 15 時間/週 50%以上 ・学びの基礎診断(ｽﾀﾃﾞｨｻﾎﾟｰﾄ GTZ)B1↑=50%以上 ・科学オリンピック、みえ科学探究フォーラムへの積極的参加 ・図書館来館者数 5,000 人以上/年		※
進路指導・キャリア教育の充実	○生徒の早期の進路意識向上と希望進路の実現 ○学力の二極化への対応 ○総合型選抜・学校推薦型選抜への対応 【活動指標】 ・キャリア関連講演会・説明会や職業体験などへの積極的参加 ・CS等の在り方を検討し二極化に対応 ・探究活動の成果を生かした進路指導 【成果指標】 ・国公立大総合型選抜・学校推薦型選抜合格者:25 人以上 ・国公立大学合格:現浪計 80 人以上(うち三重大 30 人以上)		◎
部活動の充実	○「文武両道」と部活動を通じた人づくり 【活動指標】生徒の部活動加入 85% 3 年間継続 80%以上 【成果指標】東海大会以上出場クラブ数 5以上		※

改善課題

（２）学校運営等

学校運営等に関する項目は、教職員や施設等を対象としたものとするのが望ましい。
（例）「組織運営」「研修（資質向上の取組）」「情報提供」「保護者・地域住民等との連携」など
また、評価項目・指標等を検討する際の視点は、学校の実態に応じて設定する。

【活動指標について】取組・活動の具体的な活動量や活動実績を指標にします。
【成果指標について】取組・活動による具体的な効果や成果等を指標にします。
【備考欄について】「※」: 定期的に進捗を管理する取組 「◎」: 最重点取組

項目	取組内容・指標	結果	備考

教員の 指導力向上	○ICTを効果的に活用した授業力の向上 ○ICT活用，観点別評価，高大接続，人権教育，教育相談等の研修会の実施 ○「対話」による受講奨励による校内外研修会への積極的参加 【活動指標】 ・ICTを効果的に活用した授業公開・研究の実施 ・「観点別評価」の効果的な活用手法の研究 ・教育相談に係る講演会、研修会の実施 【成果指標】 ・1・2学年における授業での Chromebook の活用：80％以上 ・各種会議での Chromebook の活用：100％ ・授業満足度・理解度 50％（Top Box） ・生徒の基礎学力向上　GTZ 平均 B1 以上の維持 ・指導方法に関する肯定的評価 50％以上（TopBox） ・教職員のカウンセリングマインドの向上 ・職員満足度調査の研修項目肯定的意見：70％以上		※
教育改革対応 及び学校運営 全般	○スクールポリシー（ｶﾘｷｭﾗﾑ P、ｱﾄﾞﾐｯｼｮﾝ P）の検討 ○学校の魅力の発信力強化 ○コンプライアンスの遵守 【活動指標】 ・「教育改革推進委員会 2023」を通年で開催（原則月1回） ・小さい単位でのコンプライアンスミーティング等の実施 【成果指標】 ・スクールポリシーの策定 ・受検倍率：前期 3 倍、後期 1.3 倍確保 ・教職員による不祥事ゼロ		※
働きやすい 職場づくり	○風通しが良く何でも言い合える職場づくり ○時間外勤務の削減と働きやすく働きがいのある職場づくり 【活動指標】 ・職員同士が本音を語り合う場の創出 ・SSS の効果的な活用 ・職員との対話年間 3 回以上　満足度調査の実施 ・定時退校日 12 日以上/年・定時退校者率 90％以上 ・会議時間 1 時間以内 100％ ・全部活動休養日週 1 日以上100％ 【成果指標】 ・一人当たりの月平均時間外労働 20 時間以下 ・年間 360 時間を超える時間外労働者　0 人 ・月 45 時間を超える時間外労働者の延べ人数 0 人 ・1 人当たりの年間休暇取得日数 18 日以上 ・職員満足度　30％以上（Top Box）		◎
改善課題			

5　学校関係者評価

明らかになった改善課題と次への取組方向	

6　次年度に向けた改善策

教育活動についての改善策	
学校運営についての改善策	